

こども
子供のインターネットバイブル
案内いたします



かみ
神さまがくださった
つよ ひと
強い人、サムソン

ぶん
文: Edward Hughes
え
絵: Janie Forest

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick
しゅつばんしゃ
出版社: Lyn Doerksen

60話の第??話

www.M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese

ずっとずっと昔、イスラエルの地にマノアという人が住んでいました。
マノアとおくさんには、こどもがありません。

でもある日のこと、マノアのおくさんのところに、
主からの使いがあらわれました。そしてこう言いましたよ。

「あなたに赤ちゃんが生まれるでしょう。

その子は、神さまがくださるとく

べつの赤ちゃんですよ。」

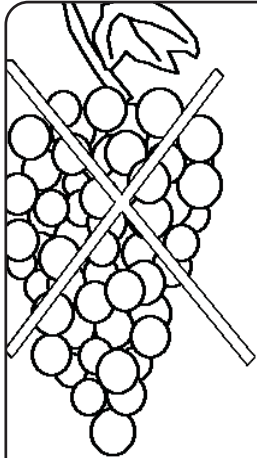


1

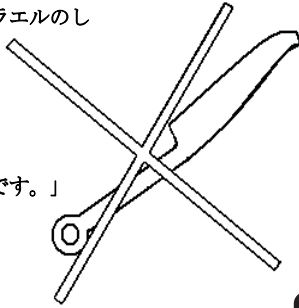
「素晴らしいニュースがあるのよ。」かの女はすぐに夫マノアのところへ行つて、このことをつたえました。それを聞いたマノアは祈りました。「ああ、わたしの主よ・・・どうぞ、私たちのところへ、もういちど来てください。そして、おしえてください。生まれてくる子にどんなことをすればいいのですか。」



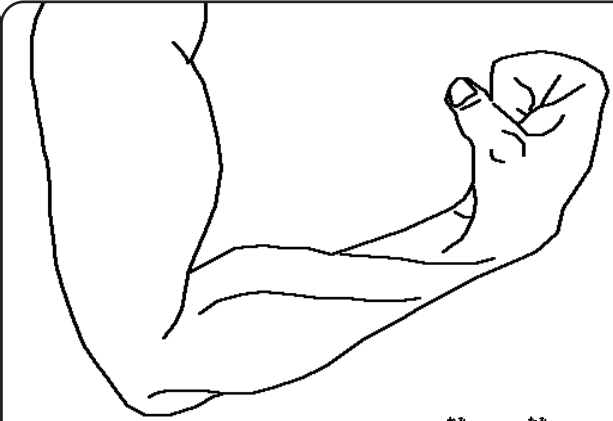
2



そこで、
天使はまたあらわれてマノアにこう言いましたよ。
「その子は、決してかみの毛を切ってはならない。
決してお酒をのんではならない。
そして決して神さまが言われたもの
以外は食べてはならない。神さまは、
この子をイスラエルのし
どう者として、
そしてわるい
人をさばく
ものとして、
えられたのです。」

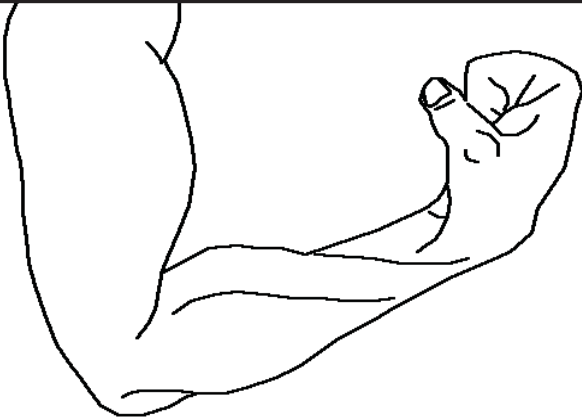


3



このころ、神さまの民イスラエルの人々は、
ほんとうにだれかに救ってもらわなければ、どうしようもなかったのです。
なぜってかれらはもうすっかり神さまからはなれていたのですからね。
それにまたかれらの敵ペリシテ人からも、いじめられていたのです。

4



でもね、かれらが神さまにお祈りしたら、神さまは、
ちゃんと聞いてくださいました。そして、赤ちゃんをくださったのです。
神さまは「その子はこの世でいちばん強い人になるだろう。」
と言われましたよ。

5

さて、しばらくして、マノアのおくさんは男の子を生みました。
その子の名前は、サムソン。神さまは、サムソンを祝ふくしてくださり、

すくすくと大きくなりました。また、
サムソンに聖い力がはたらいて
ほんとうに強くなっていきました。
ある日のこと、
サムソンは何も持たないで、
自分の手だけを使って、
わかいライオンとたたかっ
たのです。そして・・・
なんて強いのでしょうか。
とうとうそのライオンをこ
ろしてしまっただのです。



6



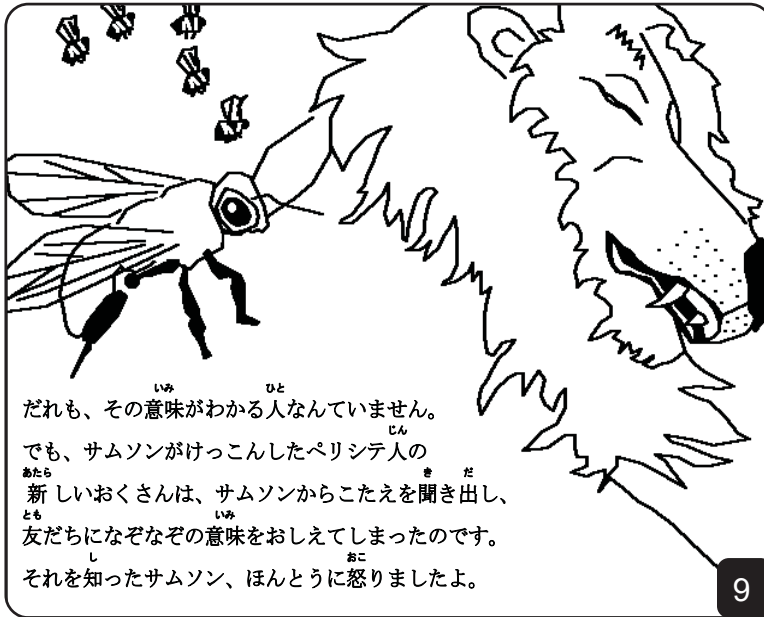
そのあと、サムソンは、
死んでしまったライオンのところに、
たくさんのミツバチが集まっているのを見つけました。
ライオンのからだに巣を作っていたのですね。
ちょっとそのハチミツをなめてみると、
まあそのミツの美味しいこと！

7



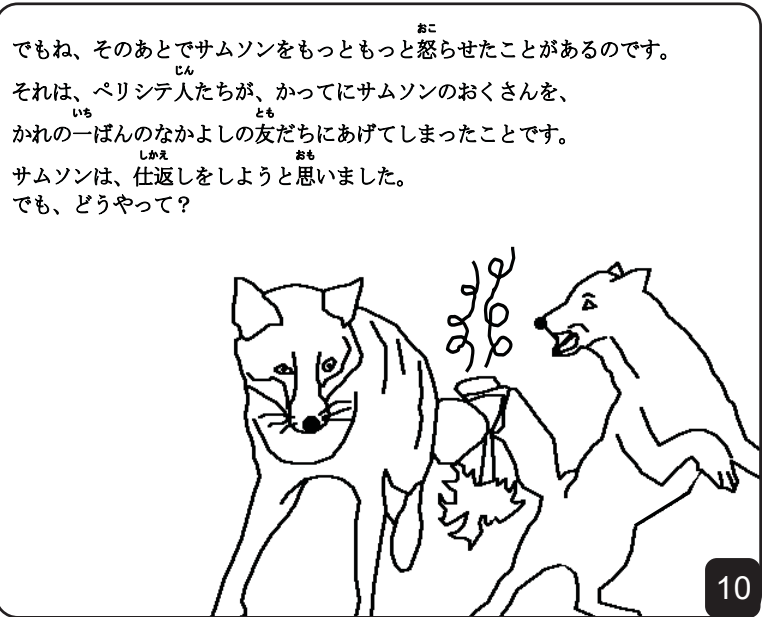
そこでサムソンは、人々になぞなぞを出しました。
「食べる者から、なにか食べものが出た。
つよいものから、なにか甘いものが出た。さあ、
みんな、これがどういう意味かわかりますか。」

8



だれも、その意味がわかる人なんていません。
でも、サムソンがけっこんしたペリシテ人の
新しいおくさんは、サムソンからこたえを聞き出し、
友だちになぞなぞの意味をおしえてしまったのです。
それを知ったサムソン、ほんとうに怒りましたよ。

9



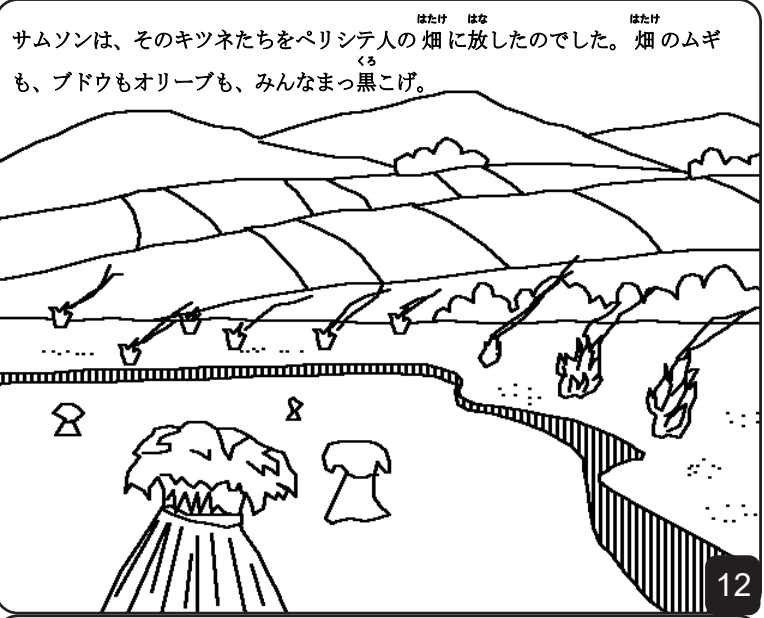
でもね、そのあとでサムソンをもっとも怒らせたことがあるのです。
それは、ペリシテ人たちが、かつてにサムソンのおくさんを、
かれの一ばんのなかよしの友だちにあげてしまったことです。
サムソンは、仕返しをしようと思いました。
でも、どうやって？

10



そこでまずサムソンは300匹ものキツネをつかまえました。それから、
つぎつぎにキツネとキツネのしっぽをむすんでいきましたよ。2匹ずつね。
そして、むすんだしっぽのあいだに、火をつけたタイマツをとりつけました。
サムソンは、いったいどうするつもりなのでしょうね。

11



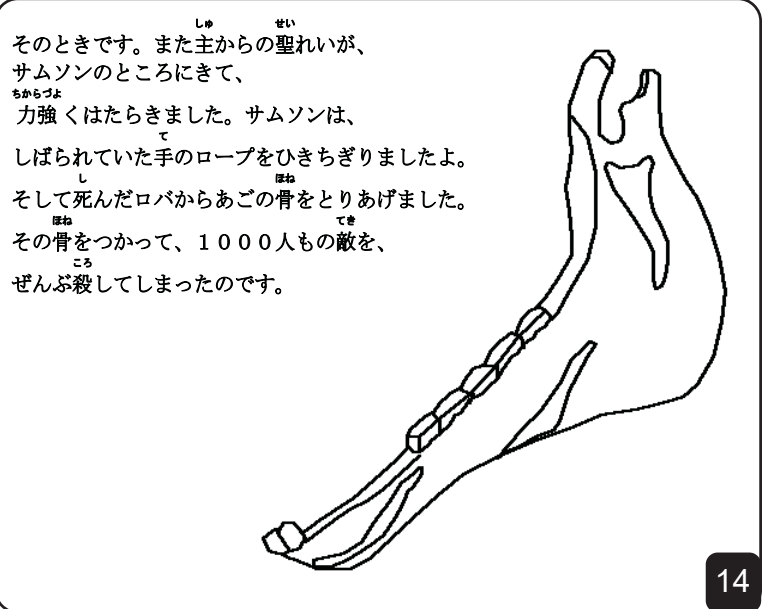
サムソンは、そのキツネたちをペリシテ人の畑に放したのです。畑のムギ
も、ブドウもオリーブも、みんなまっ黒こげ。

12



こんどは、ペリシテ人が仕返しをする番です。でもサムソンは、自分でペリシテ
人のところへ、出て行ったのです。かれは、かれらにつかまえられ、手をしばら
れ、そしてひきわたされて殺されることがわかっていたのですけれど。

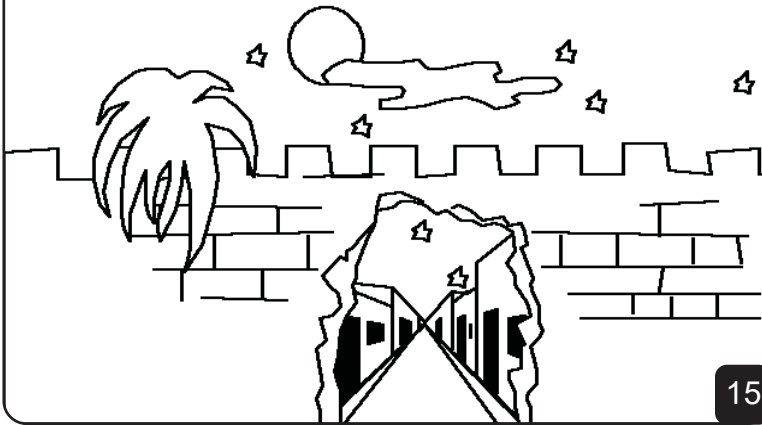
13



そのときです。また主からの聖れいが、
サムソンのところきて、
力強くはたらきました。サムソンは、
しばられていた手のロープをひきちぎりましたよ。
そして死んだロバからあごの骨をとりあげました。
その骨をつかって、1000人もの敵を、
ぜんぶ殺してしまったのです。

14

そのあと、ペリシテ人のなかまたちは、サムソンはいったいどこにいるんだろうと、あちこちさがしまわりました。ある夜のこと、サムソンが町にいることを知ったかれらは、かれにわなをしかけて、つかまえようとしてました。



15

サムソンが町から出れないように、町の門にカギをかけてしまったのです。ところが、サムソンはそんなことされても、平気です。そのものすごく大きな町の門をひょいと肩にのせて、さっさと町から出ていきました。



16

でも、ここでサムソンは、神さまのめいれいにしただがいませんでした。神さまは、サムソンが自分にしががっているかぎり、力を与え、いつも助けようと思われていたのですけれどね。ある日、サムソンは、かれがどうしてこんなに強いのかというひみつを、デリヒというペリシテ人のうつくしいスパイに話してしまいました。サムソンのひみつを聞いたデリヒ、さっそくある人にかれのかみの毛を切りおとすように言いましたよ。もちろん、サムソンが眠っているうちにね。



17

ペリシテ人の兵士たちは、デリヒのへやで眠っているサムソンにおそいかかりました。さあ、たいへん。サムソンは、いっしょうけんめい戦いました。——けれども、神さまからはなれてしまった今、サムソンにはもう何の力もありません。かわいそうにサムソンは、つかまえられて兵士たちに目をえぐり出されてしまいました。



18

目が見えなくなってしまう、すっかり弱りはたサムソンは、いまやペリシテ人のどれいなのです。ペリシテ人たちは、かれを見て、ばかにしてわらいました。「あいつがね、もと神に仕える者だったとはね。」



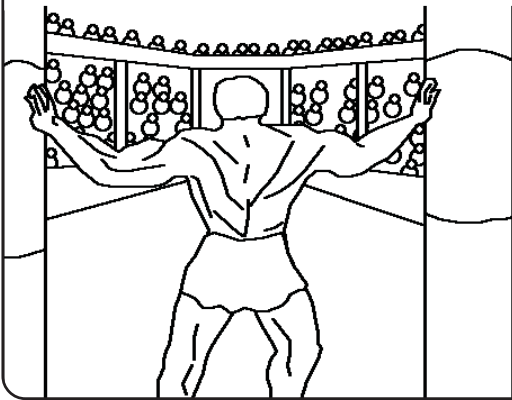
19

ペリシテ人たちは、みんな集まりお祝いのごちそうを食べましたよ。また、かれらは自分たちがやっとサムソンをつかまえることができたところ、かれらの魚の神、ダゴンをあがめたたえました。そしてダゴンの寺で、おおいに飲んで、よろこんでこう言いました。「そうだ！サムソンをここへつれてきて、見せものにしようじゃないか。」



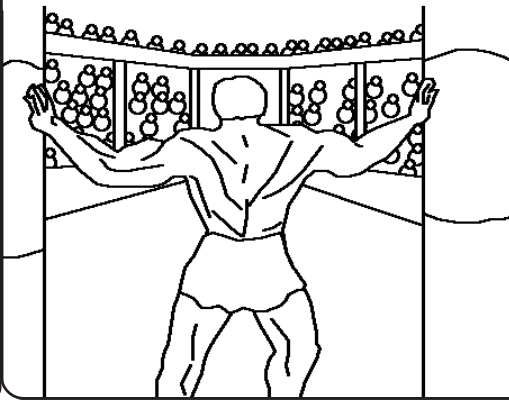
20

ひとりの少年が、サムソンをつれてきましたよ。そして、寺をささえている柱に、サムソンをもたれさせました。その寺には、3000人もペリシテ人が屋根の上に、そしてもっと多くの人たちが、寺の中にいました。「あいつが、あの強いサムソンだってよ。」



21

こう言ってみんなわらいところが、ろうやの中にいるうちに、サムソンのかみの毛がまた伸びはじめていたのです。ここで、かれは心からいのりました。「ああ、主よ、いま1度だけでけっこうです。どうぞ、わたしにあなたの力をください。わたしを、つよくしてください。かれらに、えぐりとられてしまったわたしの2つの目の仕返しができますように。」



22

みなさん、神さまはサムソンにもう1度、力をあたえられると思いますか。仕返しなど、目も見えないサムソンには、できそうもないことですよ。でも、そう、そうなのです。力いっぱい引っぱって、持ち上げて、サムソンはそのものすごく大きな柱をバラバラにしてしまったのです。



23

ダゴンの寺は大きい大きい音をたてて、みるみるうちにくずれていきました。そして、そこにいた人たちみんな、ダゴンの寺といっしょに死んでしまいました。何千人ものペリシテ人が……。そして、サムソンも……。



24

神さまがくださった強い人、サムソン

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

士師記 13 章 - 16 章

あなたの御ことばが聞かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺをくらっています。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをとても愛されたので、み子イエスをこの世におくってくださいました。そして、イエスが十字架で亡くされることによって、私たちの罪をとってくださったのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてください。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっしゃることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにすることができるのです。あなたの子として、生きることができますように、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3:16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！